



東日本旅客鉄道労働組合 郡山支部機関誌

2018年 9月10日

Vol.3

発行責任者:菅野 智浩

編集責任者:情宣部

〒963-8003 郡山市燧田 195 TEL 024-933-9766

郡山支部情報

地本「2018政策フォーラム」開催

9月8日、地本会議室にて「2018年政策フォーラム」が開催されました。

発表は5支部と国際鉄道安全会議で参加する左沢線営業所分会の6機関が行いました。郡山支部からは「より良い地域ローカル線を残すために～より便利な東北本線の運行の実現に向けて～」という内容で、菅野委員長と佐々木書記長が発表を行いました。

会社は「変革2027」を発表しました。これからは鉄道インフラのサービス提供から人の生活における豊かさを起点とした新たな価値の提供へと転換を図っていきます。少子高齢化、人口減少においていかに地方ローカル線を地域の皆様にご利用して戴くか、

そして、将来にわたって私たちにとって安心して働ける職場を残すために様々考えていかなければなりません。私たち働く労働者の視点から提言していくこと、会社の施策に向き合っていくこと、これは労働組合だからできることです。これからも組合員の目線に立ちながら運動を進めていきます。

なお、11月11～12日に行われる本部の政策フォーラムに参加する地本の代表は後日発表となります。



○郡山支部提言内容

「より良い地域ローカル線を残すために」

・昨年10月のダイヤ改正から新白河駅折返し運用が始まったことで発生した様々な問題点を挙げ、お客さまサービスの点からも新白河折返し運用を止め、郡山～黒磯間を交直流電車による直通運転の実現を提言してきました。



国際鉄道安全会議に参加する
左沢線営業所分会へ協力を取り組みました！